

150周年記念事業

●茶の湯と備前焼イベント（11月12日）



11月12日、日・西外交関係樹立150周年行事として「茶の湯と備前焼イベント」が公邸において開催され、渡邊総領事の冒頭挨拶、木村桃山備前焼作家の備前焼説明、森宗勇日仏茶道交流会代表による茶の湯の説明、デモンストレーション、呈茶席が行われ、モンセラット中央政府次席代表、ラシェラス日西経済同友会会長、茶道楽、領事団、カサ・アジア関係者等32人が参加しました。日本のハイカルチャーである茶の湯文化と備前焼の理解、普及に大きく資する150周年にふさわしいイベントとなりました。

●Rhizomatiks Research x ELEVENPLAY x Kyle McDonald: discrete figures バルセロナ公演の実施（11月10日）



11月10日、バルセロナ市郊外のコルネヤ劇場において、日本スペイン外交関係樹立150周年の閉幕記念イベントの一環として、Rhizomatiks Research x ELEVENPLAY x Kyle McDonald: discrete figures バルセロナ公演が行われました。

本公演は、2016年リオ・オリンピックのフラッグ・ハンドオーバーセレモニーや日本の人気アイドルPerfumeの演出にて活躍する真鍋大度氏および石橋素氏が率いるRhizomatiks Researchと、同五輪式典の総合演出と演舞振付を担当し、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開会式および閉会式の基本プランを策定する「4式典総合プランニングチーム」のメンバー8名の一人として選ばれているMIKIKO氏率いるELEVENPLAYによる共演で、ドロ

ーンや AI 等の日本の最先端の技術をダンス表現の一部として取り込んだステージ作品でした。

渡邊総領事の挨拶に続き、21 時からの舞台公演では、数学、テクノロジー、メディアアートと身体表現を組み合わせた斬新な内容で来場者を魅了し、公演は大盛況裏に終了し、150 周年を締めくくるにふさわしいイベントとなりました。

●日西企業同友会主催食文化イベント（10月23日）



10 月 23 日、レストラン・バルフェゴにおいて、日西企業同友会（GEJE）主催の日西外交関係樹立 150 周年行事食文化イベントが開催され、開会式ではバルフェゴ社長、渡邊総領事更に 8 個のミシェラン星を有するベラサテギ料理人が挨拶を行い、松久秀樹日本食親善大使とベラセテギ料理人によるマグロを中心とする創作日本料理、日本酒等が提供され企業ネットワーキング、日本料理を通じる文化交流等に貢献する周年記念行事にふさわしいものでした。

●料理と土佐酒のマリアージュの会（10月22日）



10 月 22 日レストラン Kak・Koy において日西外交関係樹立 150 周年行事として「料理と土佐酒のマリアージュの会」が開催され、松久日本食親善大使、渡邊総領事の開催挨拶後、土佐の 5 酒造（司牡丹酒造、有光酒造場、土佐酒造、無手無冠、土佐鶴酒造）の日本酒と創作日本料理の絶妙なマリアージュが披露されました。同イベントには、オルトウーニヨ両日本食親善大使、竹村高知県酒造組合理事長、山本千香子高知県庁企画監、5 酒造代表他、

当地の著名なシェフ、ソムリエ、メディア代表者約 50 名が参加し、土佐酒の認知度向上、販路拡大、ネットワーキング酒を通じる友好親善に大いに貢献しました。

●日本酒プロモーションイベント SAKE TOMO（10月2日）



10月2日、日西外交関係樹立150周年記念の一環として、日本酒輸出協会、IESE Japan Business Club および当館主催の「日本酒プロモーションイベント SAKE TOMO」が公邸で開催されました。本イベントには33蔵元の60銘柄が参加し、そのうち11蔵元ははるばる日本から参加しました。松崎晴雄日本酒輸出協会会長、渡邊総領事がスペインにおける日本酒文化の更なる普及を願う旨の挨拶を行い、アントニオ・カンピンス氏がカタルーニャにおける日本酒普及に関する講演を行いました。州内レストラン関係者やディストリビューターが集まり、日本酒とカニゲラグループが提供するハム等に舌鼓を打ちつつ、ネットワーキングの機会を持つことができました。

●第一回酒祭りフェスティバル（9月30日）



9月30日、BORN CCMにおいて、日西外交関係樹立150周年記念イベントとしてスペイン日本文化協会主催第一回酒祭りフェスティバルが開催されました。開催式では、村上

隆二同協会会長、渡邊総領事他の挨拶、鏡割り、祭り太鼓の演奏等が行われ、50酒造100銘柄の酒と日本食に多くの参加者1千人が舌鼓を打ち150周年にふさわしい行事でした。

●谷口顕一郎展示会 HEKOMI & CITY STUDIES (9月28日)



9月28日、「谷口顕一郎展示会 HEKOMI & CITY STUDIES」がバルセロナ・ギャラリー・ウィークエンドの期間中に、日西外交関係樹立150周年行事としてN2ギャラリーで開催され、多くのギャラリーが参加しました。渡邊総領事よりも都市のへこみや亀裂を芸術作品とした特徴的な作品であり、150周年行事として芸術交流を促進するものである旨挨拶を行いました。

●鈴木羊子リサイタル・立原立司展示会 (9月27日)



9月27日、鈴木羊子リサイタル及び立原立司展示会が、日西外交関係樹立150周年イベントとしてBEGEMOT Art & Fashion Galleryにおいて開催されました。数多くの観客が来場し、魅了され、150周年イベントにふさわしいものでした。

●日本・カタルーニャ経済交流イベント：ようこそ日本へ。革新、技術そしてロボット（9月26日）



9月26日、日・西外交関係樹立150周年を祈念し、CIRCULO ECUESTREにおいて、日西企業同友会とCIRCULO ECUESTRE共催の「ようこそ日本へ。革新、技術そしてロボット」が開催され、経済界より80名が参加しました。マルク・セルジャ・ホンダ・ジェネラル・マネジャー、イルコ・スカレッティ・パナソニック・ジェネラルマネジャーがホンダロボットのアシモやスマートシティー、日本企業文化等につき説明し活発な意見交換が行われました。閉会挨拶では、渡邊総領事よりシンギュラリティーの到来、AI時代への準備、日本の科学技術の現状、日EU・EPA、日本ブーム等につき説明しました。150周年行事にふさわしい大変有益なイベントでした。

●蒔絵人間国宝・室瀬和美氏の漆デモンストレーション・ワークショップ



6月21日より22日まで、日・西外交関係樹立150周年事業として蒔絵人間国宝の室瀬和美氏がデザイン美術館及びバルセロナ漆工芸協会において、漆のデモンストレーションとワークショップを開催し、日本の伝統工芸を普及すると共に当地の漆工芸家等に修復保存技術を伝えました。右は伝統工芸の漆を通じる両国民の交流を促進し、150周年行事にふさわしい記念行事となりました。

●スペイン・日本貿易関係とEPAのインパクト」講演会・ラウンドテーブルの開催（6月6日）



6月6日、経営者協会（Fomento de treball Nacional）において、日・西外交関係樹立150周年行事として、日・西企業同友会主催、カサ・アジア、経営者協会共催の「スペイン・日本貿易関係とEPAのインパクト」講演会・ラウンドテーブルが開催され、本年7月に署名が予定され、保護主義に対する世界の自由貿易を主導することとなる日EU・EPA（経済連携協定）の影響につき興味深い分析、意見交換が行われ多くの出席者が参集しました。

同イベントでは、カナルス経営者協会国際委員長、ラシェラス日西企業同友会会長、ナバロ ICEX 貿易部長、ヒメネス経済産業競争力省アジア貿易政策次長、渡邊総領事が挨拶を行い、またラウンドテーブルでは、エステヴェ・テイジン社、ミケル・イ・コスタ&ミケル社、ラベントス・イ・ブラン社、欧州三菱電機、宇部興産、バルフェゴ社代表が発表し、活発な質疑応答がなされました。

●第2回バレンシア夏祭り（6月2～3日）



6月2～3日、バレンシア市のペチナ文化センターにて第2回バレンシア夏祭りが日・西外交関係樹立150周年記念行事として開催され、2日間で去年の倍となる約8千人もの人々が訪れました。開会式では在バルセロナ総領事館から竹谷首席領事、主催団体である

「のぞみばし」のファン・カルロス・ペレス代表、ハイメ・トーレス芸術技術高等学院院長より挨拶が行われました。会場には日本食の屋台や出店が軒を連ねたほか、墨絵、着物、武道等、日本文化を伝える体験コーナーが設置され、それぞれ好評を博しました。2日間のステージでは日本から特別参加した和太鼓・篠笛演奏グループの処ハレによる公演が行われ、大勢の聴衆が伝統音楽に耳を傾け、大好評のうちに幕を閉じました。

●合気道誠協会主催による演武会（5月28日）



5月28日、ピラノバ・デル・バリェス市の多目的体育館において、日西外交関係樹立150周年行事として合気道誠協会主催による演武会が開催され、スアレス合気道誠協会会長、ロレンソ市長、渡邊総領事の挨拶の後、合気道、弓道、居合道等の武道のデモンストレーションが行われ、武道愛好家、市民等が参加する中、武道普及、スポーツ交流に大いに資するイベントとなりました。

●第6回バルセロナ夏祭り（5月26～27日）



5月26～27日、ラ・フスタ埠頭前広場にて第6回バルセロナ夏祭りが日・西外交関係樹立150周年記念行事として開催され、2日間で約2万5千人もの人々が訪れました。開会式では渡邊総領事、ルイス・ゴメス・バルセロナ市役所経済推進課長（企業・文化・技術革新担当）より挨拶が行われました。会場には日本食の屋台や出店が軒を連ねたほか、折り紙・将棋・着物等、日本文化を伝える体験コーナーが設置され、それぞれ好評を博し

ました。ステージでは日本伝統芸能グループ和力と和太鼓・篠笛演奏グループの処ハレによる公演が行われ、多くの来場者が伝統音楽に耳を傾け、第6回バルセロナ夏祭りは大盛況のうちに幕を閉じました。

●合唱団アンサンブル・シルフィード・コンサート（5月25日）



5月25日、サグラダ・ファミリア地下礼拝堂において、日・西外交関係樹立150周年を記念し、関西カタルーニャセンター主催、合唱団アンサンブル・シルフィード・コンサート「かけ橋“日本からの風に乗って”」が益子務氏指揮、植松さやか氏伴奏で行われました。ふるさと、おてもやん等日本の楽曲とカタルーニャの楽曲が合唱され、渡邊総領事も出席し、多くの市民からの拍手喝采を浴びました。

●「第三回領事・機関グラン・ガラ」開催（5月16日）



5月16日、パラセテ・カサデスにおいて、日・西外交関係樹立150周年行事として、「第三回領事・機関グラン・ガラ」が開催され、アブラネド中央政府副代表、領事団、政界、財界、ファッション界等から多くの参加者があり盛大に開催されました。スペイン・ブランド・政府ハイ・コミッショナーのエスピノサ氏、ラシェラス日西企業同友会会長、渡邊総領事、アンジュハル・エリート・スペイン会長等の挨拶の後、主催者のエリート・スペイン、日・西企業同友会（CEJE）より、渡邊総領事他に「黄金のC」トロフィーが授与されました。

●日本の女流文学 150 年：樋口一葉から吉本ばななまで 講習会（5月9日）



5月9日、カサ・アジアにおいて、日西外交関係樹立 150 周年事業として、アルベルト・ノリヤ・バルセロナ自治大学教授による”日本の女流文学 150 年：樋口一葉から吉本ばななまで”と題する講習会が開講され、パトリシオ調整官、渡邊総領事が開講挨拶を行い、20 名が参加しました。近代日本文学についての興味深い講習会は 30 日まで 4 回にわたり開催されます。

●笠間焼展覧会（5月6日）



5月6日、リウドムスにおいて、日西外交関係樹立 150 周年行事として、茶道楽による茶の湯デモンストレーション、風間焼き展覧会が開催され、クルセット・リウドムス市長、市民、日本人コミュニティー等で賑わいました。また、市庁舎での市長、渡邊総領事、日本人コミュニティー等の参加する記念式典、ガウデー生家、教会、市内貯水場等の視察も行われました。

●古和芸アーティスト阿麻禰公演（4月22日）



4月22日、サン・ポイ・デ・リョブレガット劇場において、日西外交関係樹立150周年行事として古和芸アーティスト阿麻禰（鳥羽優伽代表）及びわれいりゅう剣術デモンストレーションが開催され、ルイサ・ポイ市長、渡邊総領事他多くの観客が出席しました。

●第8回アリカンテ・マンガサロン（4月7～8日）



4月7～8日、アリカンテ市見本市会場にて、150周年事業として「第8回アリカンテ・マンガサロン」が開催されました。LUNA SEA ギタリスト INORAN 氏や人気 YouTuber “Nekojitablog” 等の複数のゲストが参加し、約30,000人が参加する盛況ぶりを見せました。

当館からは渡邊総領事による日西外交関係に関する講演会、松嶋専門調査員（広報・文化担当）及びアリカンテ大学学生による日西文化の相違に関するラウンドテーブルのほか、

日本から来訪した吉田健一氏及び土田祐生氏による津軽三味線コンサートを実施し、いずれも好評を博しました。

●渋谷慶一郎 + 初音ミクボーカロイド・オペラ「THE END」(3月27日)



3月27日、バルセロナ市アウディトリホールにおいて、日西外交関係樹立150周年事業として“渋谷慶一郎 + 初音ミク ボーカロイド・オペラ「THE END」”が開催されました。音楽家の渋谷慶一郎氏をはじめ、映像作家 YKBX 氏、建築家・重松象平氏、サウンドアーティスト evala 氏等の時代の先端を担う気鋭のアーティストたちによる革新的な本作品は多大なる注目を集め、当日は来場者数約1600人を記録する盛況振りを見せました。

●東京・バルセロナ現代美術展(3月26日)



3月26日、カサ・ピエラにおいて、保田扶佐子氏他現代日本人画家10名、スペイン人画家10名の参加する”東京・バルセロナ現代美術展”の開催式が盛況裡に開催されました。右は、日・西外交関係樹立150周年イベントとして開催され、ジョアン・ペラ館長の挨拶、渡邊総領事より祝辞を述べました。

●折形ワークショップ



3月18日、カパジャダス製紙博物館において、同博物館と国際交流基金の共催により、折形デザイン研究所の山口信博氏、山口美登利氏が参加して、「折形ワークショップ」が開催されました。同ワークショップにはアウベル・カパジャダス市長、ラバル・同博物館館長も出席し、当館からは竹谷首席領事が参加し挨拶を行いました。

同ワークショップが行われたカパジャダスはスペインの中でも由緒ある高級紙の製造拠点として数百年を刻む歴史を有し、前半は日本における折形の歴史・技法等に関する説明会が行われ、その後約30人の参加者が直接和紙を使用した折形を実体験するワークショップが行われました。

●アイトナ桃の花イベント（3月13日）



3月13日、レイダ県アイトナ市において、日西外交関係樹立150周年イベントと

してアイトナ桃の花イベントが開催され、ロサ・マリア・プジョル・アイトナ市長やレニエ・レイダ県会議長、市民等約200名が参加し、“アイトナにおける日本の春写真展”、“地元食材試食会”、“フルーツツールズ料理本発表”、“桃の花畑視察”等が行われました。渡邊総領事よりも桜の花に似た美しい桃花のイベントに祝意を述べました。

●ピアニスト鈴木羊子、「遠い東の地から」ジャポニズムをインスピレーションした歌とピアノのコンサート（3月8日）



3月8日マーシャル音楽院において、ピアニスト鈴木羊子氏の「遠い東から」ジャポニズムをインスピレーションした歌とピアノのコンサート」が日西外交関係樹立150周年行事として開催され、ソプラノ歌手モニカ・ルエザス氏、メゾソプラノ歌手アンナ・トンナ氏が共演しました。開催にあたり、渡邊総領事より150周年行事の意義とジャポニズムにつき説明しつつ挨拶を行いました。

●日本のまちづくりセミナー（3月6日）



3月6日、バルセロナ自治大学翻訳通訳学部にて、150周年事業「日本のまちづくりセミナー」が開催され、アルベルト・ブランチャデイ同学部長及びベルトラン同学部教授に続き、当館渡邊総領事が冒頭挨拶を述べました。本事業においてはジョイ・ヘンドリー・オックスフォードブルックス大学名誉教授（旭日小綬章受賞）、笠井賢紀龍谷大学准教授、ブ

ライ・グアルネ・バルセロナ自治大学准教授により、各地の地域コミュニティの活動や都市計画等といった視点から、日本のまちづくりに関する考察がなされました。また、120名の生徒との活発な質疑応答が行われました。

● “杉原功一 Sensual Object” 展覧会（3月1日～31日）



3月1日、画家・俳優でもある杉原功一氏の“杉原功一 Sensual Object”展覧会が150周年事業としてオリバート・アート・ギャラリーで盛況裡に開催され、渡邊総領事も開催式に出席し挨拶を行いました。

● 伊藤深水展（3月1日～5月20日）



2月28日、ジョアン・ミロ財団本部にて150周年事業「伊藤深水展」のオープニングイベントが開催され、ジャウマ・フレイシャ同財団代表ならびに伊藤深水氏の孫娘の勝田明子氏からの挨拶に続き、渡邊総領事として伊藤深水氏の功績を称えつつ挨拶を述べました。同イベントにおいては日本より来訪した摺師・岡田拓也による版画デモンストラーションが行われました。

●オロット日本陶芸展（2月10日～5月6日）



2月9日、オロット市ガロチャ博物館で150周年事業「日本陶芸展：86年夏：コウラ・ダ・オロット協同組合」オープニングイベントが開催され、ベルガ・オロット副市长、マリヨル・オロット博物館長、ロウラ博物館技術保存官、渡邊総領事、市民約80名が出席しました。渡邊総領事より150周年行事をお祝いすると共に、陶芸を通じる日本とオロット、カタルーニャ、スペインの文化交流の促進を期待する旨挨拶を行いました。本展では、86年オロット市を訪れた日本の現代陶芸作家7名の作品展示、地元陶芸家達との交流の様子の記録ビデオ上映等が行われました。

●日本茶レクチャー&デモンストレーション（2月2日）



2月2日、農林水産省日本茶大使・中西聖子氏、同日本食普及の親善大使・松久秀樹氏、UMAI DRINKS 社創始者・ジャンジャック・フレッジ氏により、総領事公邸にて日本茶レクチャー&デモンストレーションが開催されました。開会に際しては、渡邊総領事として本件

イベントが日本スペイン外交関係樹立 150 周年事業であることに言及しつつ祝辞を述べました。

3人の専門家の協力により実現した今回のイベントでは、メディア関係者・飲食関係者・ブロガー等約50名を対象に、日本茶の歴史・種類・効能等に関するレクチャー、淹れ方のデモンストレーション、日本料理やスペイン料理との飲み合わせを体感するための試飲等が行われ、日本茶の魅力が多角的に紹介される場となりました。

●第24回もちつき大会（1月28日）



1月28日、バルセロナ日本人学校において、バルセロナ水曜会文化委員会・バルセロナ日本協会共催による150周年事業「第24回もちつき大会」が開催されました。開会式の鏡割りに際しては当館渡邊総領事より本大会開催をお祝いするとともに、本年は日本スペイン外交関係樹立150周年で、本大会を含むさまざまな事業を通じる両国関係の発展を期待する旨述べ挨拶を行いました。本大会には約800が参加し、餅つき、書道、羽根突き、凧揚げ等を通じて日本の伝統文化が伝えられる場となりました。